

2021年 第47週（11月22日～11月28日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 2) インフルエンザが発生しています
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	1.50	1.00	4.00	+0.50
1位	手足口病	1.50	0.00	0.00	+1.50
3位	ヘルパンギーナ	0.50	0.50	0.00	0.00
4位	インフルエンザ	0.33	0.00	0.00	+0.33

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）
報告はありません

2 発生から見る注意点

- 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

- 2) インフルエンザが発生しています

先週（46週）、兵庫県内で今シーズン初めてのインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありましたが、今週、管内でインフルエンザが発生しました。

寒い冬に向かう中、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が心配されています。インフルエンザに対する感染防止対策は新型コロナ対策と共通しています。

- ・咳エチケットに心がける
マスクをしていない時は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ他の人から顔を背けましょう。
- ・予防接種について
予防接種には、発症予防効果と重症化防止効果がありますが、インフルエンザワクチンは高い

発症予防効果は期待できないともいわれています。最も大きな効果は「重症化」予防です。特に感染すると重症化する可能性が高い高齢者や基礎疾患がある方などには、効果が大きいと考えられています。新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種が行われますが、2回接種を完了された方は、まずはインフルエンザワクチンを優先することをお勧めします。

・ 高齢者介護施設等における感染対策の推進

高齢者介護施設等において以下のようなインフルエンザの発生動向があった場合は、速やかに健康福祉事務所（保健所）に連絡をお願いします。

◇インフルエンザ（疑い）による重篤患者等が1週間に2名以上発生した場合

◇インフルエンザ（疑い）患者が10名以上発生した場合

◇インフルエンザ（疑い）患者が全利用者の半数以上発生した場合

◇施設長が特に必要と認める場合

今冬のインフルエンザ総合対策（厚生労働省）

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第47週は29人（先週37人、先々週71人）の新型コロナウイルス新規感染者で、減少が継続しています。

南アフリカで確認された新型コロナウイルスの新しい変異株「オミクロン株」を、国立感染症研究所は「懸念される変異株」に位置づけて警戒を強化していますが、アフリカ南部からの入国者より11月30日、日本初の感染が確認されました。オミクロン株の変異の多くは、ウイルス表面にある突起状の「スパイクたんぱく質」です。このスパイクたんぱく質は、人の細胞に侵入する際に最初に結合する部分で、ワクチンによる抗体がターゲットにしている部分でもあり、感染力が強まることやワクチン効果の低下などが懸念されています。今のところ疫学的な十分な情報がないため、今後注視していく必要があります。感染防止対策は変異株であっても同様です。

マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

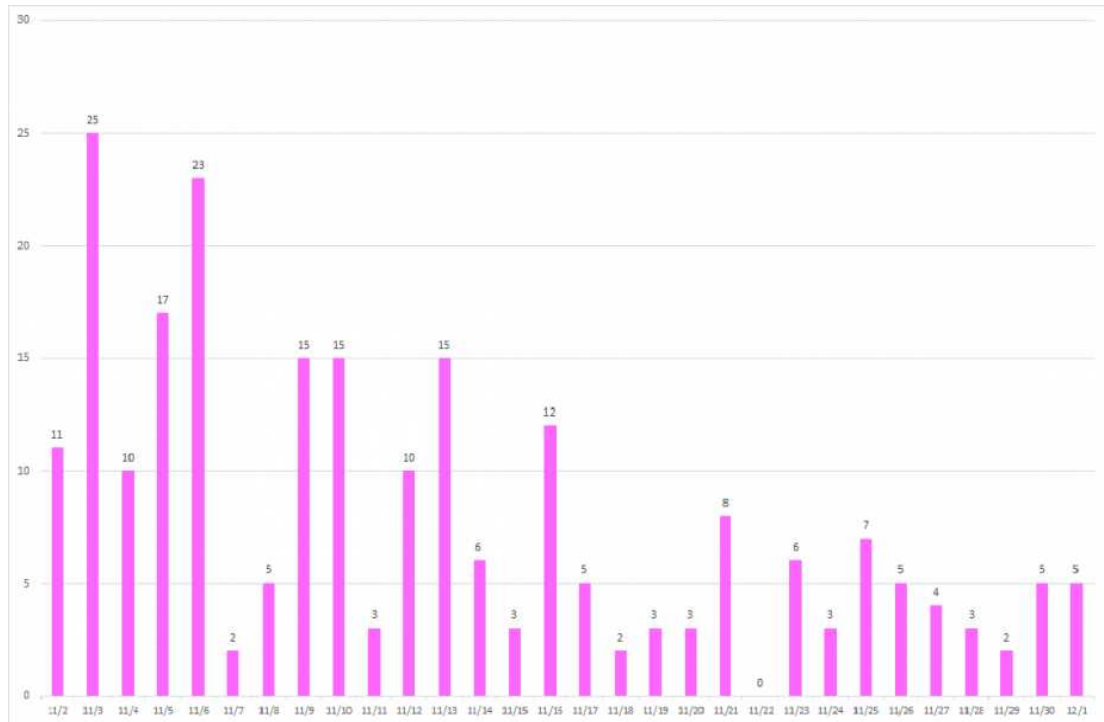
1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！

今後インフルエンザ流行の季節や年末年始を迎え、引き続き、感染再拡大への十分な警戒が必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 : 4.0人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（11/2～12/1）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

<皆様へのお願い>

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は短時間（2時間程度）にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 12月・1月実施日 12月16日(木)、1月6日(木)、1月20日(木)